

地域経済概況

No.632

2023年12月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【12月】

《景気判断》➡「このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を2か月連続で据え置いた
- 個別指標においては「企業の業況判断」を上方修正、「消費者物価」に対する見方を「このところ上昇テンポが緩やかになっている」に改めた

(個人消費)	➡ 持ち直している	(設備投資)	➡ 持ち直しに足踏みがみられる
(輸出)	➡ このところ持ち直しの動きがみられる	(生産)	➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益)	➡ 総じてみれば改善している	(企業の業況判断)	➡ 改善している
(雇用情勢)	➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価)	➡ このところ上昇テンポが緩やかになっている

➡…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ➡…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【10月】
令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	104.9 (104.6)	+1.3	106.6 (106.3)	+1.1
出荷 (速報値)	103.8 (103.6)	+0.4	105.7 (105.5)	+1.1
在庫 (速報値)	104.2 (104.4)	+0.6	103.9 (104.1)	+1.0

(経済産業省調べ)

- 10月の季節調整済指数（前月比）は生産、出荷および在庫すべてにおいて上昇
- 生産で上昇した業種…化学工業（除 無機・有機化学工業）、電子部品・デバイス工業、自動車工業ほか7業種
- 生産で低下した業種…食料品・たばこ工業、鉄鋼・非鉄金属工業、石油・石炭製品工業ほか3業種
- 製造工業生産予測調査によると、11月は前月比▲0.3%の低下、12月は同+3.2%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【11月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	255,054	+15.1
軽自動車販売台数	156,035	+0.3

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

11月の普通自動車等販売台数は前年同月比11か月連続の増加、軽自動車販売台数は4か月連続の増加

国内新車販売台数（軽自動車を含む）は411,057台（前年同月比+9.0%）で15か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【11月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
主要5品目	売上高総額	5,023	+7.4
	衣料品	1,366	+8.8
	身のまわり品	784	+16.0
	雑貨	979	+8.7
	家庭用品	174	+1.8
	食料品	1,441	+1.4

(日本百貨店協会調べ)

- 11月の売上高は21か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+2.8%で21か月連続の増加、インバウンドは同+125.1%で20か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+9.7%で26か月連続の増加、10都市以外が同+0.6%で2か月ぶりの増加

■スーパー等大型チェーン【11月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
部門別	総販売額	11,286	+3.7
	食料品	7,756	+4.6
	衣料品	630	+3.5
	住関連	2,247	+2.2
	サービス	25	+0.6
	その他	626	▲1.1

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で9か月連続の増加
- 食料品は節約志向から買い控えの傾向が続いている中、農産品が相場高の影響から堅調に推移し、食料品全体では店頭価格の上昇もあり売上は良かった
- 衣料品は気温の低下とともに季節商品が動き始め、住関連はまずまずの動きだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【10月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用関係別	総戸数	71,769	▲6.3
	持家	18,078	▲17.2
	貸家	31,671	▲1.0
	分譲住宅	21,582	▲1.2
	マンション	10,174	+9.4
	一戸建	11,368	▲8.8

(国土交通省調べ)

10月の総戸数は5か月連続の減少

前年同月比は持家は23か月連続の減少、貸家は3か月連続の減少、分譲住宅は5か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは4か月ぶりの増加、一戸建住宅は12か月連続の減少

地域別戸数は首都圏(前年同月比▲3.8%)、中部圏(同▲5.8%)、近畿圏(同▲10.6%)、その他地域(同▲6.7%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【11月】

		受注額(百万円)	前年同月比(%)
利用関係別	受注総額	115,884	▲13.6
	内需	32,667	▲28.5
	外需	83,217	▲6.0

(日本工作機械工業会調べ)

11月の受注総額は11か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を34か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【11月】

		倒産件数	負債総額
		807件	948億円
前月比		+1.7%	▲69.1%
前年同月比		+38.8%	▲17.9%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は20か月連続で前年同月を上回った

負債総額は2月以来、9か月ぶりに1,000億円を下回った

新型コロナウイルス関連倒産は253件

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【12月】

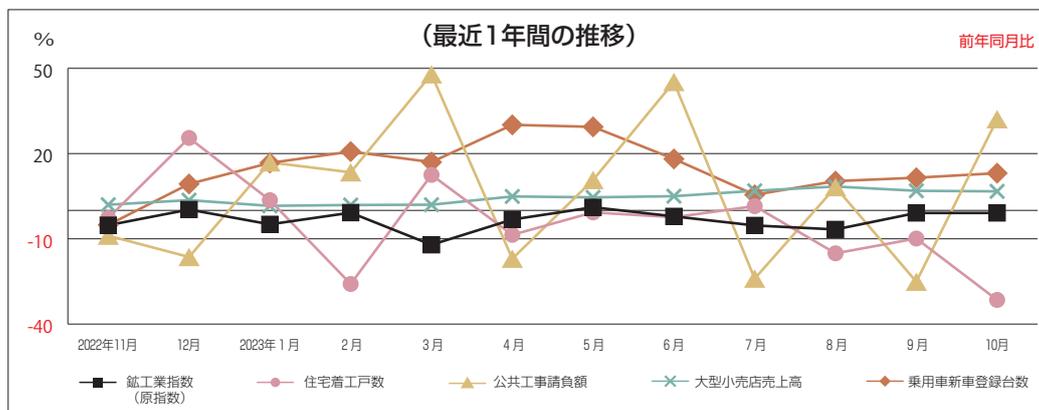
《総括判断》⇒「持ち直している」

- 「総括判断」を2か月連続で維持した
- 個別の判断はすべての項目について判断を維持した

(設備投資) ⇒ 増加している	(個人消費) ⇒ 緩やかに増加している
(住宅投資) ⇒ 弱含んでいる	(公共投資) ⇒ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ⇒ 横ばい圏内の動きとなっている	(雇用・所得) ⇒ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🔵…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



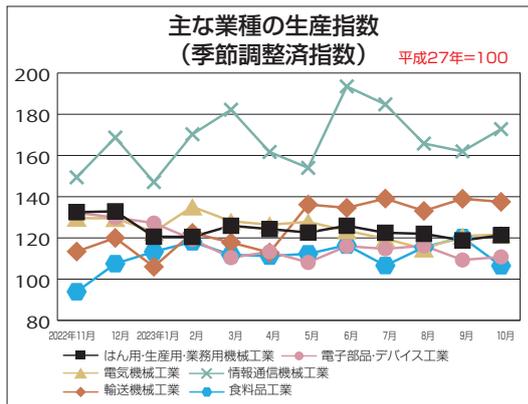
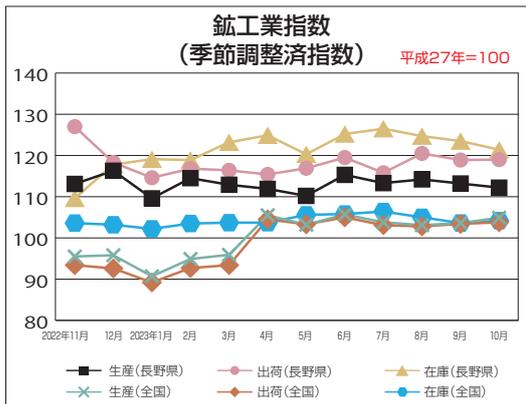
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【10月】 平成27年(2015年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	112.2 (113.2)	▲0.9 (▲0.9)	115.1 (114.2)	▲1.8 (▲3.7)
出荷 (前月確報)	119.0 (118.9)	+0.1 (▲1.3)	120.1 (119.6)	▲2.4 (▲3.4)
在庫 (前月確報)	121.4 (123.5)	▲1.7 (▲1.0)	120.9 (118.1)	+5.1 (+6.9)

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産は2か月連続の低下、出荷は2か月ぶりの上昇、在庫は3か月連続の低下
- 前年同月比 (原指数) で、生産は5か月連続の低下、出荷は10か月連続の低下、在庫は8か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業ほか6業種
- 生産で低下した業種…食料品工業、化学工業、その他工業ほか5業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数 【10月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		743	▲31.5
利用関係別	持家	462	▲7.6
	貸家	177	▲48.5
	給与	2	▲33.3
	分譲	102	▲57.1

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は3か月連続で前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は3か月連続の減少、貸家は5か月ぶりの減少、分譲は4か月連続の減少

■公共工事動向 【11月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	15	3,601
独立行政法人	2	59
県	85	3,055
市町村	167	6,382
地方公社	4	120
その他	16	395
合計	289	13,614

(東日本建設業保証調べ)

- 11月の請負件数は前年同月+21件、請負金額は+32.1%であった。また、請負金額の発注者別では国(前年同月比+780.4%)、市町村(同+16.9%)、その他(同+68.0%)で前年同月を上回り、独立行政法人(同▲84.0%)、県(同▲17.1%)、地方公社(同▲16.0%)で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数 【11月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	4,567	+13.1
軽自動車登録台数	4,200	+0.5
全体 (二輪車を除く)	8,879	+6.6
自動車保有台数	1,898,086	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は11か月連続で増加、軽自動車は2か月ぶりに増加、全体では15か月連続で増加
- 2023年11月末時点における自動車保有台数内訳…登録車949,693台(前年同月比▲0.2%)、軽自動車910,116台(同+0.9%)、二輪車38,277台(同+2.2%)

■大型小売店売上高 【10月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		22,914	+6.7
内訳	食料品	19,499	+7.5
	衣料品	1,247	+1.1
	雑貨・その他	2,169	+2.8

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は25か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、野菜の相場高などで鮮食品の売り上げが伸びたほか、販売価格の上昇などもあり前年同月を上回った
- 衣料品は、気温の低下に伴い秋物が堅調で前年同月を上回り、雑貨・その他は、化粧品などの売上げが増加した

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【10月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.41倍	▲0.04pt
全国	1.30倍	+0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【10月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	16,918人	▲11.2%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【10月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	6,978人	+7.4%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.11ポイント上回り、全国順位は13位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は45,345人で前月比▲2.3%の減少、有効求職者数は32,056人で同+0.2%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は4,267人(前年同月比+8.2%)、パートは2,686人(同+5.9%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【11月】

	倒産件数	負債総額
	3件	499百万円
前月比	▲66.6%	▲46.4%
前年同月比	▲50.0%	▲53.5%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では中信が2件、南信が1件

☞ 業種別ではその他サービス業が2件、織物・衣服・身の回り品小売業が1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は1件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～



両行の合併においては、早期融和を実現するとともに、これまで培ってきたノウハウ、リレーション及び人材を掛け合わせることで、地域と共に成長できる銀行へと変革し、お客さま、地域・株主の皆さま、従業員等により良い価値を提供することを目的としております。

合併後は、今まで以上にお客さまに寄り添い、地域の1社1社の「価値創造」とお客さま一人ひとりの「豊かさ」の実現に向け、共に歩んでまいりますので、より一層のご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。